

## 『環境改善で効率UP！温室効果ガスの排出も抑制』

### ◆ 「あいち地球温暖化防止戦略2020」

愛知県のものづくりは日本経済を支える屋台骨です。故に温室効果ガス排出量も多く、経済的発展と温室効果ガス排出抑制の両立が課題です。県では平成24年2月に「あいち地球温暖化防止戦略2020」を策定。2020年度の温室効果ガス排出に関して“効率性目標”を掲げています。(産業分野では生産額当りの排出量)

あいち地球温暖化防止戦略2020	目標値
効率性目標 (生産額当り)	産業分野は2020年度までに2.1t-CO2/百万点を達成する。

### ◆ 2015年度 アイコクアルファにおける効率性

「あいち地球温暖化防止戦略2020」で産業分野に求められる効率性(当社では排出量稼高原単位)を算出すると、2015年度実績は2.3t-CO2/百万点となりました。また2013～2015年度の3年間で3.5%(年1%以上)の効率性改善が進んでおり、品質をよくすることで、環境もよくなり儲けにもつながっています。

温室効果ガス 排出量稼高原単位 県目標値との比較(t-CO2/百万点)			
アイコクアルファ実績(2015)	県基準値(1990)	県中間値(2011)	県目標値(2020)
2.3	3.2	2.5	2.1

効率性改善成果を出した主な環境改善活動は下記の通りです。

事業部	場所	実施内容	2015年度累計改善実績(t-CO2)	ア喀什換算(本)
AP	第7工場	屋根の耐熱塗装(2015年度)	42	3,000
AP	第3工場	エアコンの更新(2015年度)	2	142
CF	第10工場	コンプレッサ更新(2015年度)	73	5,214
CF	第10工場	LED化(195本)(2014年度)	32	2,285
AP	第8工場	屋根の耐熱塗装(2014年度)	42	3,000
CF	第6工場	プレス機更新(2014年度)	30	2,142
CF	第5.6工場	コンプレッサ更新(2014年度)	206	14,714
CF	第4工場	A6, A7 炉廃熱利用(2013年度)	154	11,000
CF	第4工場	A4 洗浄機廃熱利用(2013年度)	24	1,714

### 回覧確認欄


### ◆ 2016～2018年度 効率性改善計画(期間：2016年4月～2019年3月)

効率性改善指標	基準年度 2015年度	達成年度 2018年度	改善率 (%)
温室効果ガス 排出量稼高原単位(t-CO2/百万点)	2.3	2.2	3.0%

次の3年間(2016～2018年度)に向け、「温室効果ガス 排出量稼高原単位2.2t-CO2/百万点」を目標値に設定し、環境改善活動を下記の通りに計画しています

事業部	場所	実施内容	2018年度 改善目標(t-CO2)	ア喀什換算(本)
CF	第6工場	高効率ボイラー更新(2016年度)	67	4,786
CF	第10工場	LED照明 第2期分65台(2017年度)	53	3,786
CF	第10工場	コンプレッサ新設3台(2017年度)	89	6,357
CF	第10工場	内輪加工用切削設備更新(2017年度)	34	2,429
CF	第4工場	コンプレッサ新設3台(2017年度)	51	3,642
AP	第9工場	油冷却装置 空冷→水冷(2016年度)	32	2,286
AP	第7工場	1階、2階空調機更新(2016年度)	4	286
AP	第7工場	2階事務所LED照明(2016年度)	2	143
RH	一宮 第3工場	2階事務所LED照明(2016年度)	16	1,143
HT	山崎工場	ボイラー加熱式真空洗浄機(2016年度)	93	6,643

### 🏆 2016前期 全社課題ラリー発表会 環境賞 <賞金15万点> 『B J内輪高速加工ライン 3ライン持ちによる稼働率85%以上の達成』

第10工場にラインを新設したが、高速加工3ライン持ちは、人の作業が追い付かず、人への負担が大きく、設備能力も発揮できませんでした。そこで、工具・設備・チョコ停・切粉処理・払出しなど多くの改善を行い、稼働率の目標を達成しました。

#### ◀環境目標と結果 削減量/月▶

電力使用量削減量 目標値：3,450kWh 結果：6,072kWh 目標達成！  
原油換算 10.65kℓ 18.70kℓ

#### 【受賞ポイント】

本来業務(ムダ取りによる品質改善や生産性改善によるエネルギー削減)で得られる環境成果を皆が意識し、狙って取組み、成果を出したこと。